



イスラエル：3月国会選挙に向けた動き

2015年1月5日、リクードが3月の国会選挙に向けたキャンペーンを開始した。リクードは、2014年12月31日に党首選挙と候補者名簿作成のための予備選挙を実施した。党首選挙では、ネタニヤフ党首が再選を果たした。他方、予備選挙では電子投票システムが不具合を起こし、その後手書き投票に変更するなど混乱があった。それもあってか、候補者名簿で当選圏外の順位におかれた議員らが、開票作業に不正・不備があったと主張している。票の再集計を行なうとの報道もあったが、実施されないまま選挙キャンペーンが開始されている。

労働党のヘルツォグ党首とハトゥヌアのリブニ党首（前司法相）は、12月8日に次回選挙では統一名簿で戦うと発表した。両者は、選挙で勝利し、労働党・ハトゥヌア主導で連立内閣を組閣した場合は、首相ポストを2年交代で担当するとした。世論調査では、共闘の発表後、労働党・ハトゥヌア連合は、リクードを抜いて20～25議席前後を獲得して第一政党になる勢いである。両者は中道政党を集め、右派リクードのネタニヤフ首相の首相再選を阻む連合を構築しようとしている。

前回（2013年）の初選挙でいきなり19議席を獲得したイエーシュ・アティド（未来はある党）は、中産階級のイスラエル人の経済状況を改善するとした公約が実現できていないとして、厳しい戦いを強いられている。世論調査では、現在の議席の半分になる10議席前後になる見通しである。他方、同じ公約をかかげた新党クラヌ（我ら皆党）は、10議席近くを獲得すると予測されている。

宗教政党シャスは、党内有力者の2人（デリ党首とエリ・イシャイ前党首）の軋轢が収まらず、12月15日、イシャイがシャスを離脱し、新党を立ち上げると発表した。その後、シャスの精神的指導者だった故オバディア・ユーセフがデリを批判する映像が表に出たため、29日デリ党首はシャス党首を辞任し、30日には国会議員も辞任する騒ぎになった。シャスの賢人委員会はデリの党首辞任を拒否している。デリ本人も、1月初めの時点で政界復帰を示唆する発言をしたと報道されている。世論調査では、従来のシャス支持者は、シャス支持継続と新党支持に真っ二つに分裂しており、獲得見込議席数は両党とも4議席となっている。

リバーマン外相が党首のイスラエルベイトヌ（イスラエル我が家）は、世論調査では10議席前後を取ると予想され、リバーマン党首は、選挙結果次第では次期首相の可能性もあると取り沙汰されていた。しかし、12月下旬、イスラエル警察は同党幹部らを含む不正・汚職事件を摘発した。捜査は現在も継続中であるが、イスラエルベイトヌは、警察が選挙を前に党を攻撃するための疑惑を持ち出したと反論している。不正疑惑発覚後、世論調査での支持率は半減している。

イスラエル・アラブ（イスラエル国籍を持つパレスチナ人）の政党は3党あるが、次回選挙

から議席が配分されるために必要な最低得票率が引き上げられるため選挙協力体制を構築する議論をしている。まだ合意に達していないが、3党共闘体制ができれば、世論調査では10議席前後を確保できる。

評価

今回の選挙では、政党間での新たな共闘体制構築、既存の政党を離脱した政治家による新党立ち上げが活発に行なわれている。また候補者名簿が確定していない政党もある。そのため3月の選挙に臨む政党の形は、まだ定まっていない。世論調査の予測では、20議席台を獲得するのはリクードと労働党・ハトゥヌア連合の2党である。有権者にとって、右派路線（リクード）、中道路線（労働党・ハトゥヌア）の選択肢があることになる。

今回の選挙では、経済問題が選挙での主要な争点になりつつある。中産階級の経済問題に対する関心は高い。その背景には、貧困問題の深刻化と中産階級の多くの家で家計が赤字から脱出できないという逼迫した事情がある。経済問題の改善を掲げるイエーシュ・アティド、元リクードの閣僚で、国民の人気もあったカハロン元通信相が創設した新党クラヌ（我ら皆党）がどの程度議席を獲得するかが注目される。

現在までの複数の世論調査では、リクードあるいは労働党・ハトゥヌア連合に続き、第3政党として「ユダヤの家」（極右）が10台後半の議席を獲得する見込みである。その他は10議席前後あるいは一桁台の議席を持つ政党になる模様である。選挙の後、各党党首らとの協議を経て、リブリン大統領が首班指名を行なうことになる。従来は権限のない大統領が行なう象徴的な儀式であった首班指名が、大政党の衰退と中・小政党の躍進の結果、極めて政治的な意味を持つ行為になりつつある。ネタニヤフ首相とリブリン大統領の関係は良好ではなく、ネタニヤフ首相は、最後の最後までリブリン議員の大統領就任に反対した。5日、リクードの選挙キャンペーン開始の際の演説で、ネタニヤフ首相は、次期政権では、法律を改正して大統領の首班指名権限をなくすと述べている。

（中島主席研究員）

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

◎各種情報、お問い合わせは中東調査会 HP をご覧下さい。URL : <http://www.meij.or.jp/>